

# 日本性科学会ニュース

Japan Society of Sexual Science

第41巻第4号 令和4年(2022年)12月

information

2023年研修会・学術集会・研究会予告

## 第16回 日本性科学会近畿地区研修会

テーマ：今でもだいじな性のこと

日時：2023年2月5日(日) 10:00～13:00

会場：オンライン開催

参加費：【会員】3,000円／【非会員】5,000円／【学生】1,000円

単位：日本性科学会 資格認定更新単位5単位（※有資格者が対象）

申込み：<https://sexology.jp/seminartop-html/>

プログラム：

10:00 開会式

日本性科学会 理事長 針間 克己／NPO 法人関西 GIC ネットワーク 理事長 康 純

10:05～10:35 ジェンダー外来から 受診者層の動向と傾向

療法人桐葉会 きじまこころクリニック 松岩 七虹

10:35～11:45 正味の話、性教育って・・・～射精道誕生秘話～

聖隷浜松病院リプロダクションセンター 今井 伸

11:50～13:00 QOLの改善に低用量ピル(OC/LEP)ができること

針間産婦人科 金子 法子

13:00 閉会式

日本性科学会／NPO 法人 関西 GIC ネットワーク 織田 裕行

## 第52回セックス・カウンセリング研修会

テーマ：性暴力とセクシュアリティ（仮）

日時：2023年5月28日(日)

会場：オンライン開催

## 第42回日本性科学会学術集会

大会長：関口 由紀（医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニック LUNA グループ 理事長・CEO）

テーマ：性を深く掘る

日時：2023年10月1日(日) 9時～18時（予定）

※ライブ配信なし・オンデマンド配信あり（予定）

会場：横浜シンポジア（横浜商工会議所 9F・議場）

〒231-8524 神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9階

## 症例研究会

セックス・カウンセラーやセックス・セラピストのスキルアップ・相互相談、セックス・カウンセラーやセックス・セラピストの資格を目指す方の勉強の場などを目的とし、症例研究会を開催しています。

日時：奇数月後半の水曜日または木曜日 18:30～20:30

会場：オンライン（Zoom）

※症例研究会の参加は、医師、看護師等、医療系の国家資格を持っている方に限ります。参加希望の方は事務局にお問い合わせください。

発行人：針間 克己

発行：令和4年（2022年）12月

DTP：松田デザイン・スタジオ

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

TEL・FAX: 03-3868-3853 E-mail: [office@sexology.jp](mailto:office@sexology.jp) URL: <https://sexology.jp/>

## 日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」 資格認定規定の変更について

資格認定制度検討委員会 代表 大川 玲子

日本性科学会の資格認定制度は1997年に発足しました。現在までに資格を取得したセックス・カウンセラーは11名、セラピストは26名（重複あり）、年間の新規認定者も少なく国内需要に遠くおよびません。会員の皆様にこれらの資格をより効果的に取っていただくため、本会の資格認定制度を見直すことになりました。2021年度に検討委員会が発足し、会議を重ねた結果、新制度の骨子を以下のようにまとめ、過日の理事会で同意を得られたので報告します。

### 1. 資格認定規定の主な変更点

現行規定は日本性科学会雑誌 No.1 巻末または本会ホームページを参照してください。

#### 第1条 定義

「セックス・カウンセラー（以下カウンセラー）」とは、「日本性科学会倫理規定」を遵守し、クライアントの性に関する不安や悩みに対し、カウンセリング技法を通して、広く性の相談に携わるものである。

「セックス・セラピスト（以下セラピスト）」とは、より限定された専門的職能により、「日本性科学会倫理規定」を遵守し、性機能障害の直接的な治療を行うものである。このためには医師、臨床心理士、保健師、助産師、看護師、その他医療職としての資格、あるいはこれらと同程度の技能を有しなければならない。

#### 第2～第5条 カウンセラー、セラピストの資格認定条件

- 本学会の会員歴：セラピストは5年としたところ、3年に変更
- 所定の研修カリキュラムを受講・消化する。また資格認定試験・面接試験の合格
- カウンセラーの研究論文項目を削除し「1回以上のケース発表」を追加

### 2. 制度変更のスケジュール

- 新制度の施行**：2023年度総会での決議をもって採用。2023年度12月より施行
- 資格申請**：2023年8月末までの申請。11月までの認定までは現行制度  
2024年度は移行期間（新旧どちらの制度も採用）  
2025年度は新制度
- 研修プログラム**：2023年度中の完成を目指す

### 3. 研修プログラム

- 研修会**：スクーリングを年3回開催予定
- e-ラーニング**：所定の動画10本程度作成。基本的には全ての講義視聴を資格の要件とする。カウンセラーについては申請者の専門性を考慮して一部選択とする。
- e-ラーニングの内容（仮）**：基本的には本会編集の「セックス・セラピー入門2018」に準拠する。  
①性機能不全総論 ②セックス・カウンセリング／セラピー総論 ③男性の性機能不全（セックス・セラピー）  
④男性の性機能不全（身体編） ⑤女性の性機能不全（セックス・セラピー） ⑥女性の性機能不全（性交痛・外陰痛／PGADほか） ⑦疾患と性機能不全 ⑧障害と性機能不全 ⑨多様な性／セクシュアリティとセラピー ⑩SAR／セックス・カウンセリング／セラピーに求められる倫理

## 第41回日本性科学会学術集会を開催して

第41回日本性科学会学術集会長  
湘南鎌倉医療大学 森 明子

2019年9月初旬、茅島先生、早乙女先生、大川先生から次々と波のように打診がありました。一介の会員に過ぎない私に学術集会長？！…と思いましたが、会長のミッションを看護の立場から果たすよう依頼してくださったのだと有難く受け止めました。その時すでに現勤務校への異動が2020年4月に決まっており、当初は2021年開催予定の学術集会ということでしたので、異動の1年後であれば何とかできるだろうと考えて引き受けました。10月に鹿児島へ。そして迎えた2020年、COVID-19が猛威を揮い始め、同年開催予定の学術集会は2021年に持ち越されることになりました。私の担当回は繰り下がって2年後の2022年となりました。そんな折に急遽、他学会から2021年の学術集会長を依頼されました。順延になったからこそ、そちらを引き受けることができたのですが、2年連続で学術集会開催を担うことになったのでした。2021年9月に他学会の方の役割を終え、10月に針間克己会長によるオンライン学術集会に参加、12月のクリスマス間近に第1回企画委員会を開催しました。テーマは「性のQOLを高める支援のために性科学ができること」とし、コロナ情勢の先行きを睨み、オンライン&オンデマンド開催とすることを決めました。プログラム企画を話し合い、ホームページ、ポスター、開催趣意書等、作成していきました。以降、適宜、企画委員会を持ちながら、幹事会で進捗状況を報告し、学会事務局と連絡を密にとりながら進めていきました。

学術集会当日は、本学の情報処理室を本部とし、企画委員やSE、学会事務局員らが運営にあたり、ほぼタイムスケジュール通りに進行できました。2年連続は大変でしたが前年の他学会での経験が活かしたように思います。

さて、プログラムの内容です。まず、開会の挨拶でテーマの背景にある理由を説明させていただきました。会長講演では、性のQOLをアウトカムとした無作為比較試験のエビデンスにこだわってみた次第です。教育講演「性のQOL支援の潮流」では、早乙女智子先生から、WAS（性の健康世界学会）理事、産婦人科医のお立場からSexual Justice「性の正義」について解説していただき、早乙女先生ならではのユニークなお話を聴くことができました。関口由紀先生からは、比較的新しい疾患概念であるGSM（閉経後尿路生殖器症候群）の解説と、

GSM女性の性のQOLについてお話しいただきました。閉経後の女性の力強い味方でいてくださる泌尿器科医の存在をとてうれしく思えるご講演でした。特別講演は、森裕紀子先生から「性機能と漢方」についてお話しいただきました。男女の性機能、生殖機能の問題を取り上げ、性のQOLについて臨床に根差した内容でした。東洋医学や漢方の考え方を理解するのはなかなか難しいのですが、非常にわかりやすく学ぶことができました。

午後は一般演題（口演）で始まりました。13題を第1群「性機能障害・性別違和・性暴力」、第2群「リプロダクティブ・ヘルスおよび性教育」に分けて進行していただきました。演題テーマは幅広く、看護系の発表が多い傾向でした。私も共同演者で、生殖年齢女性の性のQOLについて発表しましたが、多くの皆様と共有したいとずっと考えていた研究結果でしたので、果たせて何よりうれしく思いました。ミニセミナー「行列のできる「射精」相談所」では、小堀善友先生に事前にオーガズム後症候群（POIS）をお願いしていましたので、これを含む射精障害について、お話しいただきました。実際に行列はできていないとのことでしたが、12ヶ月で800人という、実にたくさんの症例を扱っておられました。先生を訪ねた男性は悩みも軽くなって帰られているに違いないと思いました。シンポジウム「不妊/疾患・治療と性のQOL」では、不妊と生殖医療については定本幸子先生、杉本公平先生、疾患と治療については、がん領域の久保知先生、そして糖尿病ご専門の高橋良当先生にお話しいただきました。どの先生のお話も患者さんの性のQOLを大切にしようとしている実践的で興味深い内容でした。

学会を終えて、演者の先生方がご自身の専門領域における性の問題の支援について、アカデミックに、かつ、患者さんに温かく、尽力していらっしゃることを示してくださったこと、そして198名の方が性科学に関心を寄せてご参加くださったことに心から感謝申し上げます。

最後に、私に学術集会を開催する機会を与えてくださいました役員の先生方、きめ細かく惜しみないサポートを提供してくださった学会事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。次の学術集会も楽しみにしております。

## 2022 年度資格認定結果

資格認定制度検討委員会 代表 大川 玲子

日本性科学会「セックス・セラピスト」「セックス・カウンセラー」資格認定規定（日本性科学会雑誌および日本性科学会ホームページに掲載）に基づき、2022 年度の新規資格認定および資格更新の手続きが行われました。厳正なる資格審査の結果、以下のように新規セックス・カウンセラー 1 名、更新セックス・カウンセラー 1 名、更新セックス・セラピスト 3 名が認定されました。

### 新規認定

|             |       |
|-------------|-------|
| セックス・カウンセラー | 池田 詩子 |
| セックス・セラピスト  | 該当なし  |

### 更新認定

|             |                         |
|-------------|-------------------------|
| セックス・カウンセラー | 山崎 真子                   |
| セックス・セラピスト  | 茅島 江子    小堀 善友    渡會 睦子 |

来年度も新規資格認定および更新認定（2018 年資格取得者が該当）の手続きが行われます。申請を希望される方は、日本性科学会雑誌 2022 Vol.40 NO.1 掲載の資格認定規定ならびに資格更新規定をご熟読のうえ、ご準備をお願いいたします。特に、学術集会・研修会などにご出席の際の受講証・参加証は必ず保管してください。申請の詳細は 2023 年 6 月発行のニュースに掲載されます。

## 理事会報告

2022 年 10 月 20 日（木）にオンラインで理事会が開催されました。決議事項のうち会員のみなさまにとくに影響する事柄についてお知らせします。

### 【1】法人化について

日本性科学会を法人化する方針が理事会で正式に確認されました。2023 年 5 月に開催予定の総会で「日本性科学会の解散」と「一般社団法人日本性科学会の設立」が可決・承認されれば、そのまま一般社団法人日本性科学会の設立総会に移ります。設立総会を経て登記の手続きを完了させ、特段の問題が無ければ 2023 年 6 月中に法人化が完了する見込みです。

### 【2】学会雑誌の投稿締切

これまでは「3 月 31 日」を投稿の締切日としていましたが、2023 年度号以降、「1 月 31 日」を投稿締切といたします。締切日が 2 カ月早まることになります。お間違いなきようお願いいたします。

### 【3】資格認定制度の改定について

本号 2 面にて詳報の通り、資格認定制度の大規模な改定を進めています。資格の取得要件に変更があります。詳細は 2 面を参照してください。

## 2023 年国際学会案内

### 「第26 回性の健康世界学会」

### 26th Congress of the WORLD ASSOCIATION FOR SEXUAL HEALTH

本会も加盟している性の健康世界学会（WAS）の第 26 回大会がトルコで開催されます。WAS は性科学分野で世界最大の組織であり、本会の早乙女智子副理事長も理事を務めています。

WAS への参加は、日本での性科学や性教育の活動にも使える気付きや発見、驚きやモチベーションをもたらしてくれます。世界各国の現状を知り、普段の活動に新しい視点を持ち込むきっかけになることでしょう。

公式サイトの登録フォームからメールマガジンを登録すると最新情報が受け取れるようです。ぜひ参加をご検討いただき、2023 年 11 月にはトルコでお会いしましょう。

テーマ：BRIDGING THE GAPS: sexual Health, Rights, Justice and Pleasure for all

（隔たりを埋める：すべての人のための性の健康、権利、正義、プレジャー）

会 期：2023 年 11 月 2 日（木）～5 日（日）

会 場：トルコ・アンタルヤ ミラージュパーク リゾートホテル

大会 Web サイト：<https://www.was2023.org/>